

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 3	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>The effects of antidepressant treatment on serotonergic and dopaminergic systems in Fawn-Hooded rats: a quantitative autoradiography study.</p> <p>Fawn-Hooded ラットにおける抗不安処置がセロトニン、ドーパミン系に与える影響、量的オートラジオグラフィー研究</p>	
執筆者	
Chen F, Lawrence AJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Brain Res. 2003,976(1):22-9.	
キーワード	
Fawn-Hooded ラット、セロトニン、ドーパミン、デシプラミン、セルトラリン	
要 旨	
<p>Fawn-Hooded ラット(FH ラット)は鬱行動や高いアルコール嗜好など、様々な特徴的行動を有しており、これまでに三環系抗鬱薬や選択的セロトニン取り込み阻害剤(SSRIs)の投与が、アルコールの摂取量を減少させることが報告されている。しかし、これらの抗鬱剤の神経科学的影響が脳内モノアミン系特に辺縁系に与える影響については調べられていない。そこで、本研究ではデシプラミン(DMI)やセルトラリンの半慢性的投与 (10 日間) がセロトニンやドーパミン系のいくつかの神経科学的マーカーに与える影響について検討した。ラットの脳切片中のドーパミントランスポーター、セロトニントランスポーター (SERTs) 5HT(1A)-または 5HT(2A)-レセプターへのこれらのマーカーの結合は量的オートラジオグラフィーにより測定した。その結果、DMI やセルトラリンの投与はドーパミントランスポーター、セロトニントランスポーターで異なる影響が観察された。DMI はドーパミントランスポーターの急激なアップレギュレーションが観察されたが、セルトラリンはドーパミントランスポーターの結合に影響しなかった。さらに、両薬とも 5HT(1A)-または 5HT(2A)-レセプターへの共通の効果を示した。以上の結果は DMI やセルトラリンは FH ラットの辺縁部位ではセロトニン系やドーパミン系に異なる効果があり、FH ラットでエタノール摂取量を減少させる効果は異なる神経メカニズムによるものであると考えられる。</p>	